

平成28年度

学校関係者評価 報告書

学校法人 青池学園

若狭医療福祉専門学校

若狭医療福祉専門学校 学校関係者評価報告

学校法人青池学園 若狭医療福祉専門学校は、教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について自己点検・自己評価を実施し、「平成27年度 学校自己点検・自己評価報告書」を取りまとめ、当校のホームページに公表いたしました。

また、このたび、学校関係者評価委員会を設置し、当校に関連する企業・業界の方々や教育関係者の皆様より当校の学校教育及び学校運営に対し、幅広くかつ的確なご意見、ご指導を賜りました。頂戴いたしましたご意見等につきましては「平成28年度 学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

今後は、委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を真摯に受け止め、大いなる気づきとし、社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質の保証及び向上を目指し、教職員一同邁進して参る所存でございます。

関係者の皆様には、今後とも尚一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年9月30日
学校法人 青池学園
若狭医療福祉専門学校
校長 青池 浩生

平成28年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 学校関係者評価委員会開催日時

平成28年8月9日（火） 14時00分～16時30分

2. 場所

本校ホール

3. 出席者（学校関係者評価委員委員一覧表）

	学校評価委員	所属	役職名
1	宮下 直	福井県美浜町社会福祉協議会	事務局長
2	今井 伸幸	福井県立美方高等学校	校長
3	川島 一郎	株式会社 斎藤経営	所長代理
4	窪 博司	学校法人 青池学園	評議員
5	中村 健治	介護老人保健施設 ゆなみ	介護福祉士（卒業生）
6	青池 浩生	若狭医療福祉専門学校	校長
7	西村 久美子	若狭医療福祉専門学校	副校長兼介護福祉科 学科長
8	竹村 繭美	若狭医療福祉専門学校	理学療法科 主任
9	浅妻 秀治	若狭医療福祉専門学校	事務長

4. 学校関係者評価委員会次第

- ① 開会
- ② 校長挨拶
- ③ 学校関係者評価委員紹介
- ④ 本校教職員紹介
- ⑤ 委員長選任（校長を選任）
- ⑥ 自己点検・評価結果についての説明（校長）
- ⑦ 意見交換
- ⑧ 閉会

5. 若狭医療福祉専門学校「平成27年度自己点検・自己評価報告書」に関する審議・評価
 〈自己点検・自己評価について〉

評価項目	評価・意見
基準1 教育理念・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ブログはパンフレットに記載されているか。 ・危機感をもっており、各方面でのニーズを把握したうえでとりいれていきたい。 ・SNSを上手に活用していくことは重要であるが、難しい問題でもある。
基準2 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー制度に対応はどのように考えているのか。 ・ネットワークのセキュリティ管理、アクセス制限の徹底が必要である。
基準3 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・専門教育はもちろん、社会人基礎力が全学生に身につくよう努力している。 ・職員教育に対する外部関係者からの評価をとりいれているか。 ・社会人基礎力向上のためにインターンシップを多くとりいれると良いのではないか。 ・キャリア教育を「キャリアデザイン」という科目でとり入れている。 ・場面が変わると言動が変わることも想定しての指導が必要である。 ・学生の問題は多様化してきている。 ・学校外の活動として部活動、ボランティア、アルバイトを推奨している。
基準4 教育成果	<ul style="list-style-type: none"> ・8月1日にホームカミングデーを実施した。 ・ウェブを活用し、卒業生と在校生とのやり取りができて良い。
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・変換不要な奨学金制度はあるのか。 ・入学前教育を全体で取り入れていくと高校も保護者にも安心してもらえる。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・有事における対応が今後の課題である。
基準7 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が計画的に学生募集にあたることを意識して取り組む。 ・少子化は目に見えていること。具体的な方策を練ることが大切である。 ・就職率をPRする。 ・大学への編入が可能か。可能であればPRしても良いのでは。 ・地元で就職できる点をアピールする。 ・資格が取得できることは専門学校としての使命でもあるが、専門性を前に出すことと、+αの緩い専門性も必要ではないか。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・財務基盤は安定している。流動資産（現金・預金）も多い。 ・今後の経営計画が重要である。
基準9 法令等の遵守	特になし
基準10 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアへの意識が高まっている。 ・今後もボランティア活動を長く続けてほしい。 ・学生はアルバイトなどをきっかけに学校の広告塔になってほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力を現場で見せてもらい。それが将来につながると認識されればよいPRになるのでは。 ・高齢者との関わりをもってほしい。 ・良い財務状況である。学生募集をしっかりと。

6. 今後の取組み

各委員からの貴重なご意見、ご要望を真摯に受けとめるとともに、検討・改善し今後の教育活動に生かして参りたいと思います。特に専門職を目指すためのより実践的なカリキュラムの充実、社会人基礎力指導を徹底することなど、平成27年度中にさらに体制を強化し、学校運営に活用して、より良い教育による学生の育成に努めます。

以上